

足立健康友の会

かばら支部ニュース

第97号

2016年8月18日
電話 3605-5594
http://kabara-tomon
okai.kenwa.or.jp/
mail:kabarashibu@ya
hoo.co.jp

2016 原水爆世界大会 核兵器即時廃絶署名 かばらから3名が参加しました

核兵器は地球上のあらゆる生物を破滅する人道許されないものと高齢化した署名を訴えました。



今年の7月にオバマ大統領が「核先制不使用」の宣言を含めた核軍縮策を検討していると、米紙ワシントン・ポストが7月12日までには報じました。

安倍総理はこれを受けて核の先制不使用宣言は核の抑止力を弱めるからやめてほしいとアメリカ政府筋に申し入れたことが報道されました。以下は世界大会初参加の高橋さんの報告です。

代表高橋さん（歯科医師）
報告

この度、初めて原水禁世界大会で広島に行かせて頂きました。かばら歯科の高橋です。

実際に、原爆投下された跡地、資料館、慰霊碑などを見学させて頂き、見識を深めることができました。時間とともに、当時の被爆体験を語る事ができる被爆体験者の方々が減少し、いずれば、いなくなってしまう。そのような中で今回、実際に被爆体験者からお話を聞く機会があり、その辛い思い・苦しみを知ること、大変貴重な経験となりました。

海外の様々な国から参加されている方がいました。国が異なれば、その国の政治、経済、宗教など様々な違いがあるかとは思いますが、それでも反核・平和の願いは皆、同じであることを実感できました。

健和会に入職し、2年目になります。原水禁世界大会に行かせて頂くにあたり、ご支援・ご協力頂きました方々に、大変感謝しております。ありがとうございました。

書道サークル納涼会

かばら書道サークルは、発足以来20数年になります。源田秀皋先生は三代目の先生です。会員がほればれする字を書かれます。気さくで、月二回の練習も皆和気あいあいと楽しくやっています。入会の動機は、名前をきれいに書きたい。かなを美しく書きたいなどいろいろです。蒲原診療所の友の会コーナーに作品を張り出させていただいています。会員さん同志の懇親として、毎年「新年会と暑気払い」をしています。今年も7月23日（土）に暑気払いをしました。上野精養軒の屋上は広いビヤガーデン



すが、多勢の人でにぎわい、まだ梅雨も明けていないのに納涼気分いっぱいでした。不忍池など上野公園や回りのビル群など、眼下に見ながら、夕方の涼しい風を受け、飲むビールのおいしかったこと、ビールを飲めない人もビヤガーデンの雰囲気圧倒され（？）楽しいひとときを過ごしてきました。

報告 池田 ハルエ

原水禁世界大会報告会

日時 8月25日（木）午後6時から

場所 かばらデイサービスセンター

参加費 無料 軽食と飲み物用意しています

広島に行った3人がお話しします。皆様のご参加をお待ちしています

問い合わせ 3605-5594

憲法とは、何でしようか 連載1

現憲法の根本 一度と戦争を起ささない 改憲のねらい 個人を抑制し家族と天皇制の復活

今回の参院選で、改憲勢力は残念ながら2/3を超えませんでした。そして、選挙で改憲を口にしてこなかった安倍政権は、突如「憲法を変えるかどうかではなく、どこをどう変えるかが問題になっている」と、すでに憲法を変えることを前提に話しています。

憲法とは、何でしようか。フランス革命によって、フランスの人々は王制を打倒しました。そして、民主主義が成立しました。しかし、産業資本家と労働者の矛盾は高まり、1848年のフランス2月革命が起こりま

した。この時初めて、赤旗が登場しました。この革命は、1ヶ月後にはドイツやオーストリアに広がり、た。それにおびえたプロイセン(ドイツ)の皇帝が作った憲法が、日本の明治憲法の基です。でもこれは形だけの憲法で、国民が権力を監視する立憲主義ではありません。

第一次大戦後、ドイツに最も理想的な民主主義憲法が作られました。ワイマル憲法です。でも、そこにあった非常事態の文言を利用して、ヒットラー政権が第二次大戦を引き起こしま

ません。日本の人々の、そして世界の人々の「二度と戦争を起ささない」という願いが込められているのです。国連憲章でも、「国家間の紛争は、武力に頼らない」と述べられています。

自民党の改憲案は、「行きすぎた民主主義を押さえ、家族と天皇制を中心にした長い歴史を持つ、美しい日本を取り戻す」という、国家神道を擁護する「日本会議」の考え方です。もちろん、「選択的夫婦別姓」にも強く反対しています。

「日本会議」の中心は、伊勢神宮、明治神宮、靖国神社などです。安倍政権の閣僚19人のうち、15人は「日本会議」の支持者です。国会議員の260名が、支持しています。

第二次大戦の敗戦後、日本に新しい憲法が作られました。一条から八条までは、天皇の権限の無力化。そして、九条で戦争を放棄しました。この憲法は、押しつけられたものなのでしうか。そうではあり

しかし、改憲論には別の側面もあります。それは、大企業を中心とした経済界です。戦争をしようとしているわけではありませんが、「武器を輸出しよう」といつています。そして戦争というのは、常に利権を追求するところから始まっています。社会福祉を制限し、格差を拡大し、自己の利益を最大限に求める。そ

れが経済界です。

自民党改憲案の両輪。それが「日本会議」と「経済界」だ

ということが、きちんと見据えることが必要です。

大谷田在住
平 哲夫さん

写真サークル発足

写真好き会員さん有志が集まり、写真サークルが新しく生まれました。

カメラがうまく使えない、写真がうまく取れない、パソコンに取り込めない、いろいろ悩みをお持ちの方大歓迎です。

日時 9月7日(水)午後3時から5時
場所 かばら診療所2階食堂

1960年に起きた日本の歴史にも残る安保闘争は世界の多くの人々を激励しました。この年、開かれた第6回原水爆禁止世界大会は、安保闘争に参加した全ての勢力を結集して開催され、平和行進は一万km、参加者は2200万人「たたかう世界大会」と呼ばれました。1963年ソビエト・中国の核兵器はアメリカの核使用を押さえるための核で正しい核だ、と言う核抑止力論が運動に持ち込まれ、それを支持する(原水禁)と、全ての核兵器廃絶を目指す原水爆禁止協議会(原水協)に分かれました。さらに厄介なのは抑止力論を基に「アメリカの核の傘に居るので安全」と言うもので日本政府・韓国政府などの考えです。

原水禁運動の歴史 (No 3)

核兵器廃絶のための世界的な役割を果たすべきとの声にこたえることなく、恥ずべき態度を取り続けています。一方、核兵器廃絶の世界的市民運動の中で日本原水協・被団協・平和委員会の果たす役割は大きく、被団協は自らの身を持って被爆の実態を世界に告発し、核の非人導性を明らかにしてきました。原水協は毎年の3・1ピキニデー、原水爆禁止広島・長崎大会の開催、日常の署名活動、6・9運動、各国政府への申し入れ、各国市民団体への呼びかけ、など被爆国の市民として核兵器廃絶の世界的運動の先頭に立ち国際的市民運動の中でも信頼と高い評価を受けています。

担当 渡名喜 史子

